

図書委員おすすめ本

館内中央の専用コーナーで展示中。借りてもらうと、ひそかに嬉しい推薦本！

『おうちで作れる世界のレシピ』 本山尚義、ライツ社

この本には、著者である本山さんが実際に現地の台所で教えてもらった料理や、日本で暮らす外国の皆さんに教わった196カ国分のレシピが載っています。実際に作るのもいいですが、読むだけでもおなかが満足してしまうくらいボリュームのある本です。世界の料理を体験してみませんか？

『日本人の知らない日本語 日本語再発見コミックエッセイ』 蛇蔵&海野 凧子、メディアファクトリー

日本語学校にいる外国人との日常生活をおもしろおかしくマンガにしています。他の国の文化や、外国人から見た日本への印象が良くわかります。また、日本人でも驚くような日本語なども学ぶことができます。

「情報編集力」を、育てよう

センター試験の問題は1・2年生の皆さんも見てみましたよね？翌日の新聞には掲載されていましたね。読んでみると、日常生活で知識を活用する場面を想定した出題が増えていることに気づいたかと思います。学校で学んだ知識をどう使うか… 皆さんの応用力が試されますね。

ここで藤原和博さん(東京都立中学校初民間人校長)の言葉を紹介します。「これからの社会は正解を早く見つける『情報処理力』ではなく、正解が一つとは限らない納得解を得る『情報編集力』が必要。自分と他人の知識や経験を組み合わせるには、読書が役に立つ」(2018.10.7 福井新聞)、ということだそうです。

そこで、いまからやっておいたほうがいいことを3つお伝えします。図書館も応援しますよ。

- ①長い文章でも、集中して読む練習。→朝の読書10分間を活用。文書を読む訓練は時間がかかります。
- ②世間のニュースに関心を持つ。→新聞やニュースを、日々チェック。
- ③友達や家族と、話をしよう。→「自分はこう思うけど、相手はそう思うんだ！」の発見が大事。

驚異！3年間の貸出冊数

	(単位:冊)
1位	656
2位	270
3位	218
4位	211
5位	203
6位	183
7位	176
7位	176
9位	160
10位	155

3年生のみなさん。
たくさんのご利用ありがとうございました。高校時代に、しっかり読書の習慣を身につけたことは、大きな財産です。これからも、常に読みかけの本を持つ人であれ！

ついでに、借りたままの本の返却もお忘れなく。
しつこく追いかけます〜



こぼれ囁 ~年末年始ひとこと編~

- 「寒くないっす。ミートテック、着てるんで。」 笑
- 「あ、わりとまともなクリスマスツリーだ！」
…サンタの島の基準をクリアできて、よかったです。
- 「今月号の雑誌、表紙が全部イケメン♪」
…丁寧に並べなおして、ますますご機嫌に。
- 「本になったら、貸してください。」
…配達ホヤホヤの本、横目でチェックしたのね！
- 「このにおい〜図書館！」卒業生の第一声でした。